

見本

境界確定図

・協議地 泉佐野市〇〇町〇〇番

泉佐野市〇〇町から表記すること。

一部明示の場合は 〇〇番の一部 と表記すること。

協議地が複数筆ある場合は各筆界点及び筆界線（二点鎖線）を表記すること。

法定相続人の承諾は全員とする。
共有名義の場合も同じとする。

確定図を作成される場合は、次次の事事項にに御注意下さい。

- ①紙はコート紙を用いること。
- ②従前青焼きで素焼きとなる文字、線（現況線）等は青色とすること。
- ③青色の線（現況線）の線幅は0.1mmとすること。
- ④ 黒色（既明示線）と赤色（公共用地境界線）の線幅は、0.25mmとすること。

凡例

朱線：公共用地境界線
単位：メートル

朱線は公共用地（道路敷、水路敷）との境界で
他の境界を示すものではありません。

公共座標標準点網図には、協議地の位置・形状がわかるように表記すること。

境界予定線は一点鎖線、その他の境界（筆界）は二点鎖線で表記すること。
協議地の現況が全て入るように作図すること。

側溝、水路等の構造物については、現況の寸法を記載すること。
境界予定線は一点鎖線、その他の境界（筆界）は二点鎖線で表記すること。

中心線は実線にすること。

立会	令和 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日
承諾	所有地と公共用地（道路敷、水路敷）との境界は現地及び図面に表示されたとおり異議ありません。
・協議地	泉佐野市〇〇町〇〇番の所有者
住所氏名	実印
・相隣地・対側地	泉佐野市〇〇町〇〇番・〇〇番の所有者 泉佐野市〇〇町〇〇番の所有者
住所氏名	同人が複数署名しないように表記すること。印
・対側地	泉佐野市〇〇町〇〇番の所有者
被相続人住所氏名	〇〇〇〇相続人印
・対側地	泉佐野市〇〇町〇〇番の共有者
住所氏名	印
住所氏名	印
・里道敷利害関係者	町会
住所氏名	利害関係者の承諾欄は35mm以上にする。公印
・水路敷利害関係者	土地改良区
住所氏名	利害関係者の承諾欄は35mm以上にする。公印

承諾欄の住所氏名は自筆とする。法人及び団体についてのみゴム印でも可能とする。

境界点座標リスト			
測点名	X座標	Y座標	標識
K1	-176000.000	-63000.000	コンクリート杭
K2	-176000.000	-63000.000	プラスチック杭
K3	-176000.000	-63000.000	金属標
K4	-176000.000	-63000.000	鉄

標識の設置ができない場合は、明示点と記載すること。

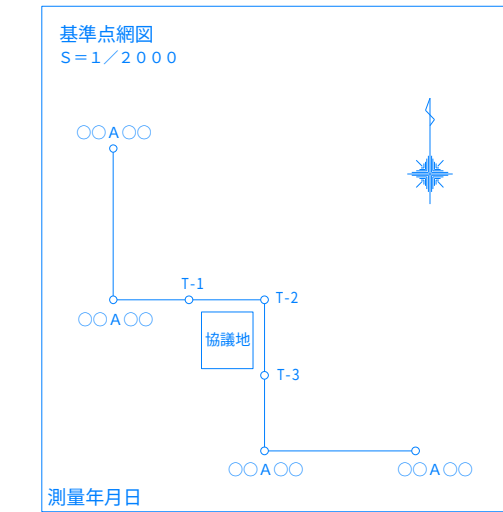
基準点座標リスト			
測点名	X座標	Y座標	標識・設置場所
T-1	-176000.000	-63000.000	鉄・側溝縁石
T-2	-176000.000	-63000.000	鉄・集水樹柵
T-3	-176000.000	-63000.000	鉄・L形側溝

参照点座標リスト			
測点名	X座標	Y座標	標識・設置場所
IN-1	-176000.000	-63000.000	鉄・側溝縁石
IN-2	-176000.000	-63000.000	鉄・可変側溝
IN-3	-176000.000	-63000.000	鉄・集水樹柵

基準点・参照点は永久構造物に鉄を埋設し、3点以上設置すること。
マンホール・ブロック角・建物(建物基礎等)・電柱・ポンチ穴は不可。
永久構造物が無い場合などは担当者で協議の上設置してください。

立会日以降で記載すること。

図名	境界確定図
測量年月日	令和 年 月 日
作製年月日	令和 年 月 日
作製者	〇〇事務所 泉佐野市市場東一丁目1番1号 〇〇士 №〇〇〇 泉佐野 太郎 職印 Tel (072) 463-1212



既知点等の名称及び座標値 (世界測地系第VI系)			
既知点等の名称	X	Y	縮尺係数
街区基準点 〇〇A〇〇	-176000.000	-63000.000	0.999999
街区基準点 〇〇A〇〇	-176000.000	-63000.000	0.999999
街区基準点 〇〇A〇〇	-176000.000	-63000.000	0.999999
街区基準点 〇〇A〇〇	-176000.000	-63000.000	0.999999

